キャラクター名
鷺ヶ谷 白水（サギガヤ　イズミ）

プレイヤー名

シンドローム	エグザイル ハヌマーン	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	17歳	性別	男
覚醒	生誕	衝動		初期侵食率	17 %
出自	待ち望まれた子	経験	実験体	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	2			6
感覚	2	0	0			2
精神	1	0	0			1
社会	2	0	0			2

HP	33
行動値	5
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
短剣	白兵	6r+4	3	Lv+7		浸:4
100↓：一閃	白兵	6r+4		2D+8		
100↑：銀の一閃	白兵	6r+4		3D+9		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
思い出の一品	
コネ：UGN幹部	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
複製体	P　執着	N 疎外感		
"オリジナル"	P　執着	N　不安		
義父：霧谷雄吾	P　尊敬	N　食傷		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
インフィニティウェポン	1	5	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：武器を作成								
影走り	1	1	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	自動	-	
効果：戦闘移動。Lv回/ｼﾅﾘｵ								
コンセ：ハヌマーン	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	-	-	
効果：C値-Lv								
音速攻撃	2	2	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	<白兵>	-	
効果：攻+LvD								
デモンズウェブ	2	2	ｵｰﾄ	10m	単体	自動	80%	
効果：HPダメ-(Lv+1)D。1回/ﾗｳﾝﾄﾞ								
援護の風	3	2	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	-	
効果：判定前に判定+LvD。1回/ﾗｳﾝﾄﾞ								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

【パーソナル】
喜怒哀楽の感情起伏が乏しい穏やかな口調。本人は真面目なつもりだが、微妙にズレており、ブラックジョークまがいのことも言う。（本人はブラックジョークのつもりはない）
一人称は僕。二人称は「君」か名字。
「この街の変な人、か……？　いや、あいにく思い当たらない。不甲斐なくて済まない。……ジュラーヴリク先生？　先生は変ではないと思う。先生の第一印象は、他の生徒を怖がらせているようだが、先生自身にも考えがあってのことだと思うし、何より人を第一印象で判断してはいけないと聞いた。先生の言動に何らおかしな点は感じないが……」
「子どもの頃の流行りか……、"オリジナル"の記憶には何も残っていないからあまり覚えていない。……いや、そこまで気にしないでほしい。僕は確かにここ数年の記憶しか定かではないが、そのことで君が申し訳なさそうに思う必要はないし、僕も気にしていない」

【出自関係】
"プロジェクト・アダムカドモン"によって実験体となっていた高崎隼人のDNAから作られた複製体。
プロジェクトが瓦解してからのFHが秘密裏に進めた研究によって造られた。隼人からの変更点として、エグザイルを入れてみたが、驚くほどかみ合わなかった。もっとよく考えろ。
それを霧谷が知ったため、最優先で研究所に殴り込み&FHを撃退し、彼を回収。以降は霧谷の目の届く範囲で保護している。良心によるものもあるが、プロジェクトについての情報管理の意味もある。
本人は、『自身が何者かの複製体であること』『FHの研究所で造られたがUGNに保護された』程度しか知らない。（このため、このシナリオ内での回収は何ひとつやるつもりはない）
UGNへの恩を返す、彼なりの正しいことを為す、など色々オーヴァードとして生きる理由はあるが、一番は『"オリジナル"を探すこと』。
だが、別にそれに特別躍起になったり執着している素振りはない。何かに熱中するための感情が欠如している感じ。もしかしたら内心で避けているのかもしれない。自分にとって決定的だと分かっているから。